

SPORTS30 59号

新春

編集 三鷹市スポーツ推進委員協議会 広報委員会



市民歩こう会205回目にして初めての直前のコース変更

令和6年9月15日（日曜日）『第205回市民歩こう会～かたらいの路（滝山コース）ウォーキング～』が開催されました。当日は猛暑日という厳しい天候でしたが、ご参加の皆さまのご協力のもと、無事に充実した歩こう会となりました。ありがとうございました。

市民歩こう会は、三鷹市スポーツ推進委員協議会内で実行委員会を立ち上げ、コース選定、必ず複数回の事前実地踏査（実踏）を行います。今回は2回目の実踏で予定行程上の道が台風による倒木で通行止めになったことが判明し、直前にコースの変更を余儀なくされました。複数ある迂回路から最善コースを選定し、緊急実踏を決行し、結果ゴールも変更となりました。

良い機会なので、市民歩こう会開催までの実行委員会の事前準備・運営についてご紹介します。



実行委員会の立ち上げ

市民歩こう会、年2回の開催に際して、三鷹市スポーツ推進委員協議会では、全メンバーがこの2回の市民歩こう会のどちらかの実行委員を務めます。

実行委員が決定すると直ちに市民歩こう会実行委員会を立ち上げ、実行委員長を選出、メンバーから提案のあったコースの中から魅力的なコースを選定し、事前の実地踏査（実踏）へとのぞみます。並行して、参加者募集要項、チラシの作成、広報みたかの掲載など、ご参加者の皆さまの募集に関する作業を進めます。



《第205回市民歩こう会『かたらいの路（滝山コース）』、プチ情報 ココがすごいよ滝山公園！》

都立滝山公園は、史跡滝山城跡で歴史を感じながら、木漏れ日のそそぐなか自然散策を楽しむことができます。標高約160mの公園の北側から多摩川の景観を望めます。眼下に広がる多摩川と秋川と田園風景の大パノラマは素晴らしく、一見の価値あります。



事前の実踏

実踏は複数回実施し全実行委員が参加します。原則、天候にかかわらず決行します。実踏では、多岐にわたる項目をチェックすることとなります。

- ・交通機関（時刻表）、乗換、乗車位置、トイレ
- ・現地での開校式（閉校式）の場所
- ・コースの確認（距離、所要時間、歩道や信号・横断歩道などの道路状況、休憩場所、トイレ）

※実踏では、地図上ではわからないコースの状況や、気になる点、歩き方などを確認します。

事前準備（役割分担・しおり作成）

参加者の募集状況を確認しつつ、実行委員の当日の役割を決め、参加者の班分けをし、しおりを作成。旗やリボン救急セットなどを用意します。第205回市民歩こう会では、直前のコースとゴールの変更で、前代未聞の事前準備となりました。

当日運営

ご参加の皆さまの安全を最優先に、コースを楽しくご完踏いただけますよう、まごころ込めて、おもてなしの運営につとめています。



2024 みたかスポーツ
フェスティバル
10月13日
三鷹中央防災公園・元気創造プラザ

開催されました

第33回三鷹市民駅伝大会
11月24日 185チームが出場し市内を一周



今後の予定



ご参加お待ちしております！

※詳細は「広報みたか」や三鷹市HPをご覧ください。 <https://www.city.mitaka.lg.jp>



2月9日 第25回小学生ソフトバレーボール交流大会



3月23日 第206回市民歩こう会
梅・桜を楽しむ 阿佐ヶ谷駅から羽根木公園までのコースです

※写真はイメージです

編集後記 SPORTS30をご覧いただきまして、ありがとうございます。私たちスポーツ推進委員の活動を市民の皆様にご覧いただくため、年に1回または2回、テーマを設け、SPORTS30を発行しています。さらに、昨年からX（エックス）での発信も始めました。アカウント名は「mitaka_sports30」です。ぜひチェックしてみてください。

さて、今期号はデフリンピックを紹介しました。皆様、聴覚障がいのアスリートが活躍するのはパラリンピックだと思いませんか。パラリンピックに参加できるのは肢体不自由、視覚障がい、知的障がいのある人です（知的障がい者のみ参加できるスペシャルオリンピックもあります）。聴覚障がい者にはデフリンピックが開催されます。そして、記念すべき100周年大会の大舞台が日本です！狩野美雪監督が率いるデフバレーボール日本代表女子チームがどんな熱い闘いを見せてくれるか、今からワクワクしますね。

みんなで応援しましょう🇯🇵

2025 年 11 月 15 日(土)～26 日(水)

第25回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025 が開催されます。

70～80 か国・地域から約 3,000 人の選手が参加され、
東京都を中心に、計 17 競技会場で熱い戦いが繰り広げられます。

デフリンピックって？

デフリンピックとは、デフ＋オリンピックのこと。デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない」という意味です。デフリンピックは、4 年毎に開催される「聞こえない、聞こえにくい人」のためのオリンピックです。夏季大会と冬季大会が 2 年毎に交互に開催されます。競技ルールはオリンピックと同じですが、聞こえない選手のための**視覚的情報保障***がなされる競技環境があることがデフリンピックの特徴です。また、コミュニケーションは国際手話で行われます。

※競技で必要な音をフラッシュランプやフラグをあげるなど、
見てわかるように工夫することが視覚的情報保障といえます。

デフリンピックの歴史

夏季デフリンピックは 1924 年に始まり、
2025 デフリンピックでは **100 周年**の記念すべき大会
であり、日本では初めての開催になります。

第 1 回夏季デフリンピックは 1924 年(大正 13 年)に
フランスで始まり、日本は 1965 年(昭和 40 年)のアメリカ・ワシントン大会から参加しています。

冬季デフリンピックは 1949 年(昭和 24 年)にオーストリアから始まり、日本は 1967 年(昭和 42 年)の
ドイツ・ベルヒテスガーデン大会から参加しています。

どのような競技があるの

夏季大会:21 競技



冬季大会:7 競技



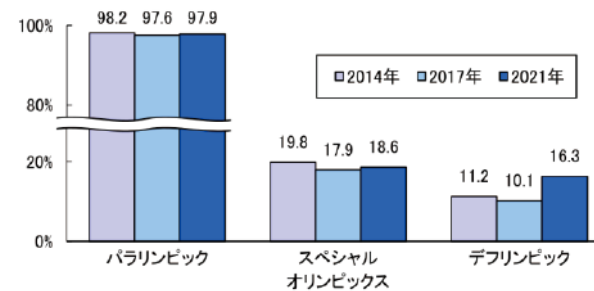
どのような人が出場できるの

補聴器や人工内耳を外した裸耳状態で、55 デシベル(普通の会話程度)より小さい音が聞こえない、各国のろう者スポーツ協会(日本は全日本ろうあ連盟)の登録者のうち、国内のデフスポーツ競技団体ごとに行われる選考競技会にて、出場条件(記録・順位など)を満たした選手に出場資格が与えられます。競技中は補聴器などを外して、全員が公平に聞こえない状態で参加します。

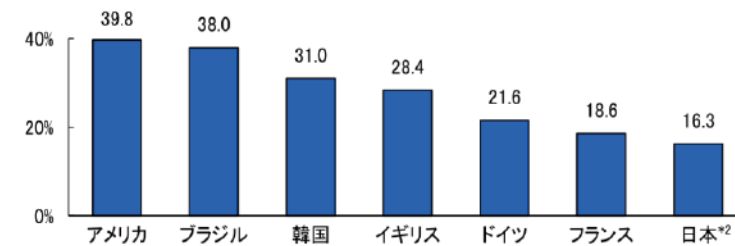
デフリンピックの知名度が低いのが現状

2021 年に日本財団パラスポーツサポートセンターが行った調査結果では、国内のデフリンピックの認知度は 16.3%で、パラリンピックとは大きな隔たりがありました^{図表 1}。また、同年に調査が実施された 7 か国のなかでも、日本がもっとも低い認知度でした^{図表 2}。

図表 1 日本におけるパラリンピック・スペシャルオリンピックス・デフリンピックの認知度¹⁾の推移(2014・2017・2021年²⁾)



図表 2 各国におけるデフリンピックの認知度⁴⁾(2021年)



デフバレーボール女子日本代表監督 狩野美雪さんをご紹介します

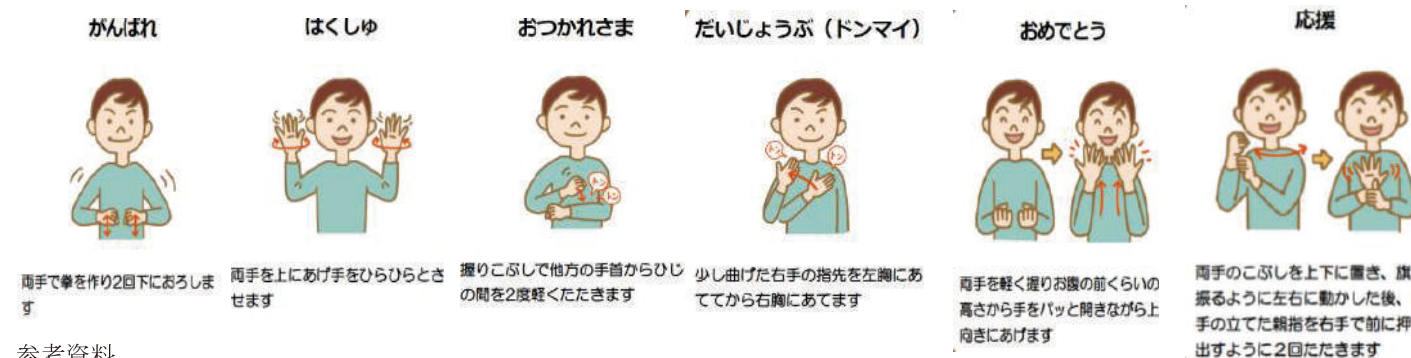


昨年 6 月に沖縄県で開催された「デフバレーボール世界選手権 2024 沖縄豊見城大会」で初優勝し、東京 2025 デフリンピック金メダルを目指す日本代表女子チームの監督、狩野美雪さんは三鷹市出身/在住のオリンピックで、2011 年よりデフバレーボール女子日本代表監督に就任し、2013 年夏季デフリンピックの銀メダル、2017 年夏季デフリンピックの金メダルに導いたすごい監督ですよ！！そして、なんと、狩野監督からのメッセージが届きました！



河村市長・土屋副市長に激励される狩野監督

『デフアスリートのプレーを皆様に見ていただき、
聴覚障がいへの理解を深め、より良い共生社会
実現の一步となるよう取り組んでいきますので、
応援よろしくお願いします。』



参考資料

※東京 2025 デフリンピック大会情報サイト(<http://deaflympic2025-game.jp/>)

※一般財団法人全日本ろうあ連盟 (<http://www.jfd.or.jp/sc/>)

※スポーツ委員会・日本財団パラスポーツサポートセンター パラリンピック研究会・青山学院大学 小堀 真研究室共同研究

※学ぼう！デフリンピック 手話を学んでみよう

選手を応援して、みんなを盛り上げよう